

平成 28 年度第 5 回ミュージアムさくら塾 開催のお知らせ

桜土手古墳展示館では多くの方々に秦野の歴史や考古学について関心をもっていたくことを目的とした平成 28 年度 第 5 回「ミュージアムさくら塾」を開催します。この塾では専門家をお招きして 6 回シリーズで歴史と考古学のお話を聞きます。

日 時 平成 29 年 1 月 28 日(土) 午前 10 時から正午まで

場 所 桜土手古墳展示館 映像室

申し込み 当展示館にご連絡ください 先着 70 名様

12 月 15 日申し込み受付開始(Tel:0463-87-5542)

参加費 100 円

内 容 二宮尊徳の業績とその後の報徳運動

二宮尊徳の教えが明治以降どのように受け継がれ、

展開していったのかを秦野地域周辺の例で解説します。

講 師 報徳博物館 学芸員 飯森富夫氏

イベントの予告:

現在予定されているイベントは下記の通りです。(都合により変更される場合があります)

A) 平成 29 年 2 月～3 月 特別展 絵図展(仮称) 江戸時代の秦野

B) 平成 29 年 2 月 18 日(土) ミュージアムさくら塾 絵図でみる江戸時代の秦野(仮題)

詳細は 決定次第 ホームページ 広報 および 展示館だよりでお知らせします。

桜土手古墳展示館

サービス・業務案内

桜土手古墳展示館は開館から26年がたち、この間市民の皆様から熱いご支援をいただき歴史、文化の発信基地として機能してまいりました。改めて市民の大切な文化施設としての意味を考えさらに市民の皆様のお役に立つように広報活動に努力してまいります。ついては改めて当館の事業、サービスについてお知らせさせていただきます。

桜土手古墳展示館の特徴：本展示館では保存古墳や復元古墳の野外展示と、展示室の出土遺物や模型、映像展示が一体化したものです。当館は古墳の資料だけでなく広く秦野の歴史、文化資料も取り扱っており考古学や歴史の学習の一助となることを意図しております。当館では多くの方に展示館に足を運んでいただき、秦野の歴史や考古学に関心をもっていただくために以下のサービス・事業を行っています。



- 1) 展示館の見学は無料です(個人用に限り館内の写真撮影が可能です)
- 2) 歴史・遺跡・文化関連書物 資料を自由に閲覧していただけます(無料)
- 3) ほとんどの書物 資料を2週間程度貸し出しができます(無料)
- 4) 図書や資料の必要なページをコピーすることが可能です(有料)
- 5) 職員による解説が可能です 団体向けの解説も行います
- 6) 映像室で 秦野の歴史 古墳造営 古代人の祈り などのビデオを鑑賞いただけます(無料) ご依頼があれば人数にかかわらずいつでも上映します
- 7) 年6回の歴史・遺跡関連の講演会(ミュージアムさくら塾)を開催します
- 8) 年数回の文化財見学会を開催します(無料)
- 9) 年数回の体験型学習会(まがたまづくりなど)を開催します(材料費実費)



10)年数回 特別展を開催し 歴史や考古学、秦野の文化に関連した展示を行っています

11) 公園はいこいの場としていつでも利用いただけます(閉館日 駐車場は利用できません)

12) 駐車場は全部で 23 台分(お体の不自由な方用 2 台含む)すべて無料

閉館日を除き 8:30~17:00 利用可能です



各イベントについては 事前に秦野市のホームページ(展示館のページ)と

(秦野市ホームページ→教育・スポーツ・市民活動→文化・芸術→秦野市立桜土手古墳展示館)

市の”広報はだの”に掲載します。また展示館だよりも掲載します。展示館だよりは年数回発行し 図書館や公民館に配置していますのでご自由にお持ち帰りください。かながわ考古学財団と共同で行う事業についてはかながわ考古学財団の ホームページでお知らせを見ていただくことも可能です。

展示館だよりミニレクチャー 秦野の原始・古代の遺跡めぐり「先土器時代編」

これから 6 回にわたり 2011 年の展示館だよりに掲載した秦野の歴史についての説明を時代別に再掲載します。

秦野地域にはおよそ 2 万年前から人々の生活が営まれてきました。「先土器時代」とも「旧石器時代」とも言われるこの時代、人々は狩猟や木の実などの採集をして生活していたと考えられています。先土器時代は富士山や箱根の火山が活発に活動していた時期であり、発掘時には火山灰が堆積した「関東ローム層」と呼ばれる赤土の中に遺物が含まれています。

秦野周辺では富士山、箱根の山々のすぐ東側にあたるため火山灰の堆積が厚く、遺跡・遺物の発見を困

難にしています。このため、南地区の大岳院遺跡(尾尻)や渋沢地区の堂坂遺跡、鶴巻地区の不弓引遺跡など、数例がいられているにすぎませんが、背後に丹沢の山を控え、水にも恵まれた秦野市地域は、狩猟の対象となる動物や、木の実を結ぶ樹木が豊富であり、当時の人々にも住みよい場所であったと考えられます。

平成4年に秦野駅南部土地区画整理事業により発掘調査が行われた大岳院遺跡からは小型のナイフ形石器が集中して検出されたほか、調理施設と思われる「礫群(れきぐん)」も発見されました。

当時は木や動物の骨で作られた道具も多く存在していたと考えられますが、長い年月の間に腐蝕して失われてしまい、石の道具だけが出土しています。その石の材質を見ると、北日本や中部日本に原産地を持つけつがん 頁岩こくようせきや黒曜石が使われており、秦野にはない材料であるためすでに東日本規模での物や人の動きがあったことに驚かされます。先土器時代は縄文以降に比べ、遺構の検出例が少なく、その生活の様子は不明な点が多かったのですが、相模原市田名向原 No.4 遺跡では、従来検出が困難といわれていた住居跡が発見されるなど、ここ20年ほどの間に着実に新たな知見が増してきています。そういう意味では今後の研究の進展が期待されている時期といえます。



先土器時代の石器

今から約1万6千年前に、日本列島に住む人々は土をこねて焼いた器(土器)を作るようになり、ほぼ同時に犬をパートナーとして弓矢で狩猟を行うことを始めました。特に土器の発明は、煮炊きすることにより、あく抜き、殺菌の効果をもたらし、これまでたべられなかったものを衛生的に食べられるようにしました。この、土器の発明をもって「先土器時代」と後に続く「縄文時代」との画期とするのが一般的です。

注記:頁岩とは堆積岩のひとつ 泥が固結した岩石のうち、薄くはがれる性質のあるもの。

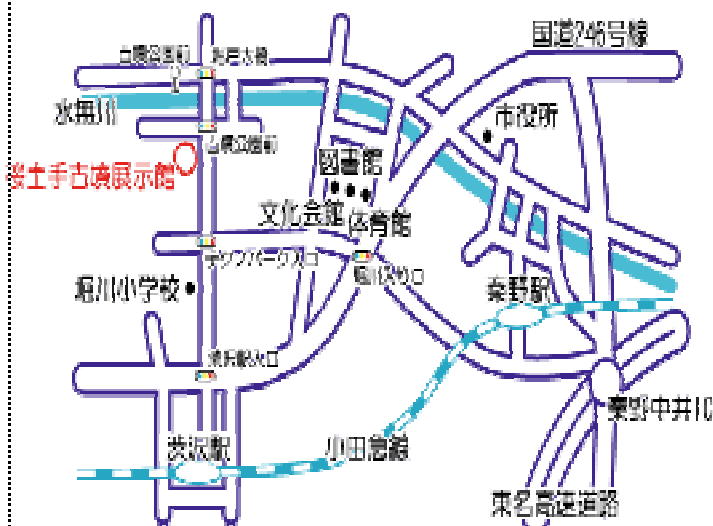
(この記事は2011年の展示館だよりに掲載したものの再掲載です)

最新の情報:

平成28年12月現在、新東名高速道路建設工事に伴う発掘調査により、大岳院遺跡よりも古い2万5千年前の石器時代の遺物が蓑毛小林遺跡で発見されています。



先土器時代の石器



<桜土手古墳展示館へのアクセス>

- ☆小田急線渋谷駅北口より徒歩 20分
 - 〃 バス 秦 54 秦野駅行「桜土手古墳公園」下車徒歩 2分
 - 〃 バス 秦 08 秦野駅行「桜土手」下車 徒歩 10分
 - 〃 渋 05 高砂車庫前行「桜土手古墳公園」下車徒歩 2分
- ☆小田急線秦野駅北口より
 - 〃 バス 秦 54 渋谷駅北口行「桜土手古墳公園」下車徒歩 2分
 - 〃 バス 秦 08 渋谷駅北口行「桜土手」下車 徒歩 10分
- ☆ 入館無料 開館時間午前9時～午後5時(月曜休館) 駐車場有

桜土手古墳展示館だより Vol. 55号 冬-A号

発行日 平成28年12月15日
 編集発行 秦野市立桜土手古墳展示館
 〒259-1304 神奈川県秦野市堀山下380-3
 TEL 0463-87-5542 FAX 0463-87-5794
<http://www.city.hadano.kanagawa.jp/bunkazai/sakura-kofun.html>